

## 注意喚起：WordPress の脆弱性情報と

### Sniper シリーズの緊急シグネチャーリリースについて

#### 1. 概要

WordPress.org が提供する WordPress は、オープンソースの CMS（コンテンツマネジメントシステム）です。多くの Web サイトで利用されておりますが、2017年2月6日に JPCERT、IPA にて脆弱性に関する注意喚起が行われております。今回の脆弱性が悪用された場合、遠隔の第三者によって、サーバ上でコンテンツを改ざんされる可能性があります。

IPA の2月7日情報によると、Sucuri 社からの情報で本脆弱性を悪用して多数のウェブサイトが改ざんされたとの情報がありますので、対策済みバージョンへのアップデートを大至急実施する必要があります。（後述の参考情報を参照ください。）

#### 2. 脆弱性情報詳細

##### （1）対象となる製品とバージョン

- WordPress 4.7 及び 4.7.1

##### （2）対策

WordPress を以下の最新のバージョンに更新する。

- WordPress 4.7.2 （1月26日リリース）

##### （3）対策までの対応方法

JPCERT/CC からは以下の対応方法が提示されています。

「対策を適用するまでの間の保護として、WordPress にて REST API を使用しない、REST API に対するアクセスを制限するなど、本脆弱性の影響を軽減することを検討してください。ただし、WordPress の動作変更を行う修正や、Web サーバの設定を変更するなどの必要があります。」

#### 3. Sniper IPS, Sniper ONE での対策シグネチャー緊急リリース

Sniper IPS, Sniper ONE のシリーズは今回の脆弱性に対するシグネチャーを2月13日付けで緊急リリース致しました。今回のようにシステムの脆弱性が見つかってバージョンアップなどのシステム更新が必要で早急に対応できない場合に、Sniper IPS 等のセキュリティ製品による多層防御システムは有効です。

シグネチャーコード	シグネチャー名	脆弱性システム
3414	WordPress REST Api Privilege Escalation	WordPress 4.7.0/4.7.1

## &lt;参考情報&gt;

## ■ WordPress

WordPress 4.7.2 Security Release

<https://wordpress.org/news/2017/01/wordpress-4-7-2-security-release/>

## ■ JPCERT/CC

JPCERT-AT-2017-0006 WordPress の脆弱性に関する注意喚起

<https://www.jpcert.or.jp/at/2017/at170006.html>

## ■ Sucuri

Content Injection Vulnerability in WordPress

<https://blog.sucuri.net/2017/02/content-injection-vulnerability-wordpress-rest-api.html>

## ■ 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)

WordPress の脆弱性対策について

<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20170206-wordpress.html>

## &lt;&lt;お問合せ先&gt;&gt;



株式会社セキュアソフト

〒150-0011

東京都渋谷区東 3 丁目 14 番 15 号 MOビル 2F

TEL 03-5464-9966

FAX 03-5464-9977

[sales@secursoft.co.jp](mailto:sales@secursoft.co.jp)